



創刊 1946(昭和21)年5月1日  
 発行所  
 ・日本教育新聞社  
 〒105-8436  
 東京都港区虎ノ門1-2-8  
 電話03(5510)7777(大代表)  
 郵便振替 00150-8-196500  
 ©日本教育新聞社 2013  
 ☎03(5510)7828  
 Eメール kodoku@kyoi-ku-press.co.jp  
 http://www.kyoiku-press.co.jp

**NWeb** このマーク表示のある記事については、ご愛読者に限り、ホームページ上でさらに理解を深めるための資料を閲覧することができます。

今週の紙面

文科省が優秀教員を表彰  
 平成24年度の文部科学大臣優秀教員表彰の表彰式は28日に東京都内で開かれる。国公私立の現職教員の中から、本年度は、35歳から63歳まで、828人が表彰を受ける予定だ。10、11面に受賞した教員の氏名、勤務校、主な実践分野を紹介する。

- 3 教育改革
- 4 学校経営
- 5 小学校
- 6 中学校
- 7

東京都教委

高校生に共通試験

来春 難易度を3段階設定

高校段階の学力保証を目的に、東京都教委は新年度から都立高校に6教科の共通試験を導入する。高校生が身に付けるべき学力として都教委は年度内に3段階の「学力スタンダード」をつくる考えで、各校が学力状況に応じてスタンダードと共通試験を選択する流れだ。現在、文部科学省が全国の高校に対して実施を検討している到達度評価テストに先鞭をつけた形になる。

共通試験は新年度、5校に実施する計画だ。10校のモデル校で先行し、平成26年度から全都立高校に導入する。各校は選んだスタンダードに對する到達目標を自校のホームページで公表し、全生徒に共通試験を受けさせる。

高校で履修すべき内容や目標は学習指導要領が定めているが、習得すべき内容は明らかではない。都教委では、そのギャップが高校の学力保証を難しくしていると考へ、「到達度を定量的に把握できる仕組み」としてスタンダードの作成を決めた。

ただ、都教委では「スタンダードで示す内容は知識・技能の学力の一部として、共通テストの結果が到達目標に達しない場合でも、校長の判断で生徒の単位認定は可能だ」としている。

都が独自に高校の学力保証を始めることで、文科省が中央教育審議会で検討している高校の到達度評価テストの在り方にも今後、影響を与える可能性がある。

英語実技、5年で倍増

採用試験 小学校外国語に対応

運用能力を十分に評価できるとまでは言えないが、ある程度の英語力は把握できる。小学校教諭として必要な英語力を大

地震発生、その時どう動く？

3月13日、日本版「シェイクアウト」

突然「震度6の地震です」とメールが配信された時、あなたはどう避難行動を取りますか。アメリカ発の「一斉避難訓練「シェイクアウト」」をモデルに3月13日、全国各地の有志の学校管理職、教員などが参加して実施する日本全国一斉避難訓練プロジェクトが進行している。企画しているのはシンクタンク未来教育ビジョンで、明治大学、デジタル・ナレッジなどが支援する。

全国の有志管理職ら

地震発生時に必ずしも学校内にとどまるとは限らない一方、「子どもを守る」ことが優先される教員にとって「避難指示」や「行動」をどうすればいいかを検証する機会にする。過去には災害情報の入手が困難な学校もあったため、各自が普段使用しているスマートフォンや携帯型のパソコンなどを活用。実地に一斉避難訓練に取り組み、行動を振り返り、課題があればさらに修正して、進化する避難訓練につなげたい考え。

避難行動を検証、課題・教訓を共有

地震発生0分後には揺れは2次災害発は訓練終了を斉メールを配毛を残し、写真避難行動を記ream)でネット上のシを使い意見交換中央防災会企画者でもあ難力を上げるわりではない。点があれば、めには情報の人に参加を「予定する愛媛藤宏幸校長はるつもりでもが検証できる。もう予定で、参加には個別い合わせ・申しsuzuki-toshie

本司司